

# 機能水ニュースレター No. 120

2024年7月17日発行 一般財団法人機能水研究振興財団 編集担当 堀田国元・中藤誉子・清水雅俊

協力: 日本機能水学会・(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8 Tel: 03-5435-8501, Fax: 03-5435-8522

E-mail: [kinousui-zaidan@fwf.or.jp](mailto:kinousui-zaidan@fwf.or.jp) ホームページ: <http://www.fwf.or.jp>

報告:	ifia JAPAN 2024 . . . . .	1
	第90回ウォーター研究会セミナー . . . . .	2
お知らせ:	第12回 HACCP 導入へ向けた迅速検査実習 . . . . .	2
	日本防菌防黴学会第51回年次大会 . . . . .	3
	日本機能水学会第22回学術大会 . . . . .	3
	生物安全実践講習会: 第4回実践コース B . . . . .	4
	生物安全実践講習会: 第6回基盤コース . . . . .	5
	有機加工食品の日本農林規格の一部改正 . . . . .	6
	対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル 2024 . . . . .	6
	今井博三さんを偲んで . . . . .	7

## 機能水関連カレンダー

生物安全実践講習会第4回実践コース B	2024年8月20-21日(火-水)	北里大学相模原キャンパス
第12回 HACCP 導入へ向けた迅速検査実習	2024年8月23日(金)	東京顕微鏡院豊海研究所
日本防菌防黴学会第51回年次大会	2024年9月17-18日(火-水)	タワーホール船堀(東京)
生物安全実践講習会第6回基盤コース	2024年9月26日(木)	ニプロ本社ビル(摂津市)
日本機能水学会第22回学術大会	2024年10月5-6日(土-日)	長井記念館(東京渋谷)

## <報告>

### ifia JAPAN 2024

2024年5月22~24日、東京ビッグサイトで開催。(一財)機能水研究振興財団と(一社)日本電解水協会の連携で出展と講演(23日:食の安全・科学セッション テーマ「次亜塩素酸水の新展望」)を実施した。講演は100名以上の参加を得て盛況であった。

基調講演 次亜塩素酸水の正しい知識と近未来:	堀田国元(機能水研究振興財団 理事長)
講演1 次亜塩素酸水 新たな価値の創造と今後の課題:	石渡幸則(日本電解水協会 会長)
講演2 次亜塩素酸水による食物アレルギー除去効果:	高見澤一裕(愛知文教女子短期大学特任教授)
講演3 HACCP 制度化の現状と電解水の活用と効果:	金盛幹昌(日本電解水協会・HACCP 普及指導員)



## 第90回ウォーター研究会セミナー

年3回のペースで開催してきたウォーター研究会セミナーは、今回30周年記念にあたる第90回を迎え、下記の講演と懇親会が行われた。参加者(対面)は演者含めて35名が集った。30年前にウォーター研究会を立ち上げた発起人の中山武久先生の乾杯の音頭で懇親会は和やかに進められた。

期日：2024年7月6日(土)13:30~16:30(講演)、16:30~18:00(懇親会)

会場：ホテルプリンセスガーデン目黒(東京都品川区上大崎2-23-7)

### <講演>

- ・次亜塩素酸水の誕生と3室型電解法からイオンレスの次亜塩素酸水まで：須藤 良庸(ニプロ(株)機能水研究室)
- ・空間浄化ガイドライン策定までの道程：両角 久(指針第1版作成委員会・(株)コスモテクノ)
- ・ウォーター研究会の30年 温故知新：堀田 国元((一財)機能水研究振興財団)
- ・機能水による消化器内視鏡洗浄消毒器の使用実態調査：友岡 仁(使用手引き調査研究委員会・興研(株))
- ・ルワンダにおける電解水の活躍：武田 功 ((一社)地球環境改革再生機構)



### <お知らせ>

開催日程が決定いたしました!! 受講申込受付中!!

## 第12回 HACCP 導入へ向けた迅速検査実習

主催 迅速検査研究会

- 開催日時：2024年8月23日(金)9時55分~17時20分(受付開始 9時30分~)
- 会場：一般財団法人東京顕微鏡院・豊海研究所(東京都中央区豊海町5-1)
- 定員：24名(先着順、最低催行人数:12名)
- 受講費：賛助会員・法人会員 5,000円、一般 10,000円(不課税、テキスト代・昼食代込み)

検査未経験者も大歓迎!

HACCP 制度化への対応は自主的な衛生検査から!

様々なメーカーのATP検査キットやタンパク検出キット、簡易培地、アレルゲン検査キット、携帯形微生物観察器を実習で体験してみませんか?

**申込み方法** 下記を明記の上、メール [info@jinsokukensa.com](mailto:info@jinsokukensa.com) にてお申込みください。

1. 住所、2. 所属・役職、3. 氏名(ふりがな)、4. E-mail、5. 電話番号、
7. 会員 or 一般 (会員=迅速検査研究会の賛助会員・法人会員企業、機能水研究振興財団の関係者)

**お問い合わせ** 迅速検査研究会 事務局担当:立石(たていし) TEL:090-2907-5456



## 日本防菌防黴学会第 51 回年次大会

大会長： 齊藤美佳子（東京農工大学）

令和 6 年 9 月 17 日（火）～18 日（水） タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀 4-1-1）

### [機能水関連プログラム]

9 月 17 日（火）13:00～16:00（A 会場 5 階大ホール）コーディネーター：石崎直人（麻布大）・岩澤篤郎（東京医療保健大）

#### ●シンポジウム 1 テーマ： 滅菌・除菌関係について

- |                                      |                    |
|--------------------------------------|--------------------|
| 1S1-Ap01 食品工場における効果的な洗浄除菌（仮題）（30 分）  | 國武広一郎（セッツ（株））      |
| 1S1-Ap02 電解水の新たな価値の創造と今後の課題（30 分）    | 石渡幸則（（一社）日本電解水協会）  |
| 1S1-Ap03 多様な食品を支える殺菌除菌処理と今後の課題（30 分） | 五十部誠一郎（日本大学）       |
| 1S1-Ap04 過酸化水素ガスプラズマ滅菌法の歴史と現在        | 大澤玲子（ASP Japan（同）） |
| 1S1-Ap05 プラズマ殺菌の現状と今後の展開（30 分）       | 沖野晃俊（東京工業大学）       |

9 月 18 日（水） 13:00～16:00（B 会場 5 階 小ホール） 実空間衛生研究部会主催

コーディネーター： 菊野理津子（（一財）北里環境科学センター）・島崎典子（国立感染症研究所）

#### ●シンポジウム 7 テーマ： 微生物制御の新地平 — “空間衛生”によるウイルス制御

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 2S7-Bp01 室内でのウイルス抑制性能の評価 — 学会が関与する役割と意義                       | 菊野理津子（（一財）北里環境科学センター） |
| 2S7-Bp02 モデル実験室空間を用いた効果検証の現状と限界                               | 射本康夫（日本繊維製品品質技術センター）  |
| 2S7-Bp03 空気清浄機のエアロゾル粒子の除去効果と挙動解析                              | 鍵 直樹（東京工業大学）          |
| 2S7-Bp04 CFD シミュレーションと模擬装置（咳マシン）による<br>病原体の実空間における挙動予測と対策（仮題） | 山中俊夫（大阪大学）            |
| 2S7-Bp05 評価法設計に向けた新たなアプローチ — 評価指針の策定                          | 森 卓也（花王（株））           |

## 日本機能水学会第 22 回学術大会

大会テーマ： 機能水とワンヘルス・SDGs

大会長： 佐藤 勉（東海大学医学部 教授）

これまでに様々な機能水が研究・開発されてきています。これらの機能水は医療、農水産業や食品衛生分野などその活用は多岐にわたっています。なかでも電解水は、「品質（生成原理）、生成機器と生成水の規格」「有効性」「安全性」のいずれにおいても科学的根拠が明確に提示された機能水です。そして生体（人間、家畜など）や環境に優しいことから、SDGs やワンヘルスの観点からもさらなる活用が期待されています。そこで電解水をはじめとする様々な機能水のさらなる可能性を求めて、大会テーマを「機能水とワンヘルス・SDGs」とさせていただき、準備を進めています。

会 期： 2024 年 10 月 5～6 日（土～日）

会 場： 日本薬学会長井記念ホール（長井記念館 B1F: 東京渋谷） <https://www.pharm.or.jp/hall/access.html>

主催・共催： 日本機能水学会・（一財）機能水研究振興財団、

後 援： ウォーター研究会、アルカリイオン整水器協議会、（一社）日本電解水協会、微酸性次亜塩素酸水協議会

協 賛： 日本医療・環境オゾン学会、日本口腔機能水学会、（公財）ルイ・パストゥール医学研究センター、  
電気化学会電解科学技術委員会、三遠南信水機能活用研究会

参加費： 会員 6 千円、非会員 1 万円、学生 3 千円

技術交流会： 会費 6 千円（一律）

参加登録： 2024 年 8 月 1 日～2024 年 9 月 13 日（予定）

[http://www.fwf.or.jp/gaku\\_jutu.html](http://www.fwf.or.jp/gaku_jutu.html) の申し込みよりお願いします。

大会事務局： 担当：中藤誉子、TEL 03-3495-0251 E-mail: [kinousui-gakkai@fwf.or.jp](mailto:kinousui-gakkai@fwf.or.jp) <http://www.fwf.or.jp/gakkai.html>



# 生物安全実践講習会

## 第4回 実践コースB

日程：令和6年 8月20・21日(火・水) 2日間(各日9:00~17:00)

会場：(一財)北里環境科学センター／北里大学 L2号館

[アクセス] JR相模原駅・小田急線相模大野駅よりバスで約30分

内容：病原体の取扱い・管理のために必要な  
法令を含めた先進的知識と技術に関する座学と実習

受講料：1名 35,000円 (テキスト事前配布)

申込方法：生物安全実践講習会ホームページの「開催案内」より

< <https://biossafetyforum.wixsite.com/seibutuanzen> >

事務局：生物安全実践講習会 担当 清水雅俊 ([kinousui-zaidan@fwf.or.jp](mailto:kinousui-zaidan@fwf.or.jp))



### 【予定プログラム】

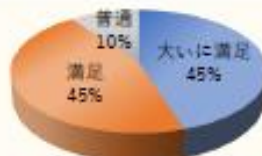
区分	題目	座学講師・実習指導者
第1日目	ガイダンス	講習会概要 堀田 国元 機能水研究振興財団 理事長
	座学1	感染制御概論 I-細菌- 高山 陽子 北里大学医学部 教授
	座学2	感染制御概論 II-ウイルス- 久保 誠 北里大学医療衛生学部 教授
	座学3	病原体の消毒・殺菌および滅菌 堀田 国元 元国立感染症研究所生物活性物質部 室長
	座学4	One Health から見た 薬剤耐性菌の現状と課題 田村 豊 酪農学園大学 名誉教授
	座学5	医薬品製造における安全対策とGMP 佐々木 次雄 元国立感染症研究所細菌第二部 室長
	座学6	遺伝子組換え生物等の利用と安全対策 辻井 栄作 京都大学研究推進部研究規範マネジメント室
	座学7	遺伝子関連検査と安全対策 林 邦彦 (株)池田理化 / PCR感染症検査研究会
	特別講演	今知っておくべき新知識・情報 (仮) 館田 一博 東邦大学医学部 教授
第2日目	実習1	病原体の輸送・梱包および漏洩時対応 伊木 繁雄 国立感染症研究所安全実験管理部 主任研究官 鹿住 祐子 元結核予防会結核研究所抗酸菌部結核菌情報科 霧島 正浩 (株)スギヤマゲン
	実習2	個人防護具 (PPE) の着脱 大川 潤一 アゼアス(株)
	実習3	遺伝子関連検査の基本操作と安全対策 林 邦彦 (株)池田理化 / PCR感染症検査研究会
	実習4	安全キャビネットの構造と管理他 関口 勝美 (株)アルパーネット代表

### < 受講生の声 >

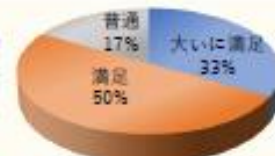
#### 講習会満足度

※上記HPにダイジェスト動画掲載中

「座学」



「実習」





# 生物安全実践講習会

## 第6回 基盤コース

日時：令和6年9月26日(木) 9:00~17:00

会場：ニプロホール(ニプロ本社ビル1F貸ホール)  
[アクセス：JR京都線 岸辺駅より徒歩5分]

内容：病原体の性状、取扱いおよび管理のために  
必要な先進的知識と技術に関する座学と実習

受講料：20,000円/名(座学と実習のテキスト事前配布)

募集締切：令和6年9月12日(木) ※募集定員に達し次第終了

申込方法：生物安全実践講習会ホームページの「開催案内」より  
<<https://biosafetyforum.wixsite.com/seibutuanzen>>

事務局：生物安全実践講習会事務局 担当 清水雅俊([kinousui-zaidan@fwf.or.jp](mailto:kinousui-zaidan@fwf.or.jp))



生物安全実践講習会H.P.

### 【予定プログラム】

区分	題目	座学講師・実習指導者
午前	ガイダンス 講習会概要	堀田 国元 機能水研究振興財団 理事長
	座学1 感染症概論	木ノ本 雅通 元国立感染症研究所 主任研究官
	座学2 病原体概論Ⅰ-細菌-	中野 隆史 大阪医科薬科大学医学部 教授
	座学3 病原体概論Ⅱ-ウイルス-	野田 衛 元国立医薬品食品衛生研究所 部長
	座学4 感染防御概論Ⅰ-感染経路対策-	堀田 国元 機能水研究振興財団 理事長 立石 亘 迅速検査研究会
	座学5 感染防御概論Ⅱ-殺菌・消毒-	岩澤 篤郎 東京医療保健大学 教授
	特別講演 今知っておくべき新知識・新情報	著名な専門家の先生による招待講演
午後	実習 衛生的な手洗い	サラヤ株式会社
	ATP拭き取り検査	キッコーマンバイオケミファ株式会社
	生菌の顕微鏡観察	株式会社mil-kin
	個人防護具の装着(マスク)	興研株式会社



衛生的な手洗い実習



ATP拭き取り検査実習



生菌の顕微鏡観察実習



個人防護具の装着実習

## 有機加工食品の日本農林規格の一部改正について

令和6年7月1日官報号外第158号、財務省・農林水産省告示第18号にて有機加工食品の日本農林規格が一部改正された。  
<https://kanpou.npb.go.jp/20240701/20240701g00158/20240701g001580032f.html>

新旧対応表：[https://www.maff.go.jp/j/jas/jas\\_kikaku/attach/pdf/kokujikaisei-524.pdf](https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/attach/pdf/kokujikaisei-524.pdf)

日本農林規格 JAS1606 有機加工食品：[https://www.maff.go.jp/j/jas/jas\\_kikaku/attach/pdf/yuuki-438.pdf](https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/attach/pdf/yuuki-438.pdf)

表 A.1－添加物（続き）

INS 番号*	添加物*	基準
—	次亜塩素酸ナトリウム	農産物の加工品に使用する場合〔食塩水（99%以上の塩化ナトリウムを含有する食塩を使用したものに限る。）を電気分解したものに限る。〕又は食肉の加工品に用いる動物の腸の消毒用又は卵の洗浄用に限ること。
—	次亜塩素酸水	農産物の加工品に使用する場合又は食肉の加工品に用いる動物の腸の消毒若しくは卵の洗浄に使用する場合に限ること。
297	フマル酸	食肉の加工品に用いる動物の腸の消毒用又は卵の洗浄用に限ること。
365	フマル酸一ナトリウム	食肉の加工品に用いる動物の腸の消毒用又は卵の洗浄用に限ること。
—	オゾン	農産物の加工品に使用する場合又は食肉の消毒若しくは卵の洗浄に使用する場合に限ること。

## 対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル2024

日本消化器がん検診学会編集による標記のマニュアル2024（改訂第2版）が刊行された。その中の「Ⅶ 検査機関が整備すべき検査機器」において機能水による消毒に関して以下のように記述されている。

機能水による消毒を排除するものではない。胃内視鏡検診運営委員会の検討で機能水による消毒が認められた場合は、機能水研究振興財団（監修：日本機能水学会）による「機能水による消化器内視鏡洗浄消毒器の使用手引き（第3版）」を参考に管理方法を定め、高水準消毒ではないことをわきまえた上で、適切な使用に努める必要がある。

機能水を用いた内視鏡洗浄・消毒については、消化器内視鏡洗浄・消毒ガイドラインのステートメント 4-3 において「機能水（強酸性電解水・オゾン水）による内視鏡洗浄・消毒に関しては、その特性や欠点を十分理解したうえで、各施設の責任において使用することが望ましい」としている。機能水研究振興財団では、機能水による消化器内視鏡洗浄消毒のあり方に関する調査研究を進め、日本機能水学会の監修を受け、医療機器認可を取得した3社の機能水による消化器内視鏡洗浄消毒器に関して装置の特徴を生かした使用方法を記載した「機能水による消化器内視鏡洗浄消毒器の使用手引き（第3版）」<sup>3)</sup>を公表している。



## 今井博三さんを偲んで



令和6年7月2日（火）に今井博三さん（旧松下電工（株）；現パナソニック（株））がご逝去（享年81歳）されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに今井さんを偲んで追悼させていただきたいと思っております。

今井さんは、昭和41（1966）年4月に松下電工に入社され、平成15（2003）年5月に退職されるまで、47年にわたり、家電部門研究所の研究職を経てリビング関連の家庭用家電商品の技術開発責任者として事業部で活躍されました。その中で水関連商品として浄水器、温水洗浄便座、アルカリイオン整水器の開発などを担当されました。

家庭用医療機器に分類されるアルカリイオン整水器から生成される飲用アルカリ性電解水（アルカリイオン水）について、1992年に当時の厚生省から物性、安全性、有効性について科学的再検証を要請された際、先頭に立って業界をとりまとめ、アルカリイオン整水器協議会を設立し、再検証するための体制づくり、資金集めに奔走され、当時京都大学医学部教授の糸川嘉則先生を委員長とするアルカリイオン整水器検討委員会を立ち上げられました。3年余りの検証期間中も事務局（幹事会社）として、機能水初の二重盲検比較試験の計画遂行、厚生労働省への胃腸症状の改善有効性の最終報告書提出など、先が見えない再検証の難題に、決して諦めることのない粘り強いバイタリティーときめ細かい心遣いをもって臨まれ、大きな貢献をされました。また、関西ウォーター研究会設立にもご尽力いただきました。ここに、改めて機能水普及への長年の取組みに感謝を申し上げる次第です。

合掌

令和6年7月

ルイパストゥール医学研究センター環境感染制御研究室

才原 康弘